

# 四半期報告書

(第67期第3四半期)

自 平成23年10月1日

至 平成23年12月31日

リバーエレクトック株式会社

山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号

# 目 次

表 紙	頁
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
2 その他	15
第二部 提出会社の保証会社等の情報	16

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【四半期会計期間】	第67期第3四半期（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551) 22-1211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551) 22-1211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第3四半期連結 累計期間	第67期 第3四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高（千円）	4,450,649	4,065,006	5,813,028
経常利益又は経常損失（△）（千円）	146,537	△40,677	110,941
四半期（当期）純利益又は四半期純損失（△）（千円）	129,795	△114,522	90,738
四半期包括利益又は包括利益（千円）	90,981	△179,866	12,561
純資産額（千円）	3,220,249	2,934,739	3,144,122
総資産額（千円）	7,326,002	7,513,299	7,435,024
1株当たり四半期（当期）純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額（円）（△）	17.61	△15.54	12.31
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	44.0	39.1	42.3
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	338,014	214,806	451,477
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△426,151	△247,683	△640,438
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△153,790	289,781	97,483
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（千円）	896,645	1,282,117	1,043,543

回次	第66期 第3四半期連結 会計期間	第67期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額（円）（△）	18.52	△10.80

（注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2．売上高には、消費税等は含んでおりません。

3．第66期第3四半期累計期間及び第66期の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4．第67期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

5．第66期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理しております。

6．四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから持ち直しの動きが見られたものの、米国経済の回復の遅れや欧州の金融不安等による急激な円高の進行、タイ国の洪水被害の影響など先行きが見通しにくい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループでは「アジア地域の営業体制の再構築と販売網の拡充」「音叉型水晶振動子のコスト競争力強化」といった事業構造改革に取り組むとともに急成長を遂げているスマートフォン市場をターゲットにシェア拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,065,006千円（前年同期比8.7%減）となりました。

損益につきましては、営業損失66,549千円（前年同期は150,938千円の営業利益）、経常損失40,677千円（前年同期は146,537千円の経常利益）となりました。また、特別損失として投資有価証券の評価損などを計上したため、四半期純損失114,522千円（前年同期は129,795千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (水晶製品事業)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	前年同期比
売上高	4,285,725千円	3,964,582千円	△7.5%
セグメント（経常）利益	133,669千円	△42,667千円	△131.9%

水晶製品の売上高は、3,964,582千円（前年同期比7.5%減）となりました。スマートフォンを主とした携帯電話向けや無線モジュール向けの受注が好調に推移しましたが、車載関連、デジタルスチルカメラ向けの受注が低迷したほか、円高や価格競争の激化の影響などから前年同期に比べ減収となりました。セグメント利益は、原価縮減などの収益性改善に努めましたが、減収の影響を補えず42,667千円（前年同期は133,669千円のセグメント利益）の損失となりました。

#### (その他の電子部品事業)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	前年同期比
売上高	164,924千円	100,423千円	△39.1%
セグメント（経常）利益	12,868千円	1,989千円	△84.5%

その他の電子部品の売上高は、抵抗器及びインダクタの事業縮小の影響により100,423千円（前年同期比39.1%減）となりました。セグメント利益は、減収の影響などから、1,989千円（前年同期比84.5%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ238,574千円増加し、1,282,117千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果、獲得した資金は214,806千円（前年同期は338,014千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失105,599千円、減価償却費377,374千円、賞与引当金の減少37,529千円、売上債権の減少94,178千円、たな卸資産の増加114,545千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は247,683千円（前年同期は426,151千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出104,134千円、定期預金の払戻による収入330,467千円、有形固定資産の取得による支出471,731千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果、獲得した資金は289,781千円（前年同期は153,790千円の使用）となりました。これは主に短期借入金増加（純額）147,614千円、長期借入れによる収入601,741千円、長期借入金の返済による支出427,592千円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、126,154千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

###### ②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	—	7,492,652	—	1,070,520	—	957,810

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

### ① 【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 121,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 7,370,400	73,704	—
単元未満株式	普通株式 1,252	—	—
発行済株式総数	7,492,652	—	—
総株主の議決権	—	73,704	—

### ② 【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
リバーエレテック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号	121,000	—	121,000	1.62
計	—	121,000	—	121,000	1.62

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
専務取締役	事業推進・営業担当	岩下 功	平成23年12月14日

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,490,241	1,488,002
受取手形及び売掛金	1,430,261	※ 1,316,830
商品及び製品	390,902	428,052
仕掛品	241,105	268,367
原材料及び貯蔵品	596,913	621,830
繰延税金資産	14	30
その他	154,299	185,745
貸倒引当金	△2,703	△2,592
流動資産合計	4,301,035	4,306,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	459,488	438,158
機械装置及び運搬具（純額）	1,602,274	1,622,310
工具、器具及び備品（純額）	88,034	70,119
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	5,011	14,189
建設仮勘定	254,881	383,153
有形固定資産合計	2,825,120	2,943,359
無形固定資産		
ソフトウェア	1,131	400
その他	16,902	15,478
無形固定資産合計	18,033	15,878
投資その他の資産		
投資有価証券	146,907	95,542
破産更生債権等	68,250	62,750
その他	143,927	152,249
貸倒引当金	△68,250	△62,750
投資その他の資産合計	290,834	247,792
固定資産合計	3,133,989	3,207,030
資産合計	7,435,024	7,513,299

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	813,617	786,164
短期借入金	846,098	987,358
1年内返済予定の長期借入金	571,689	708,888
未払法人税等	17,364	10,135
賞与引当金	63,883	26,353
設備関係支払手形	138,275	203,107
その他	290,570	247,032
流動負債合計	2,741,498	2,969,040
固定負債		
長期借入金	1,241,923	1,278,873
繰延税金負債	1,096	1,296
退職給付引当金	182,288	189,021
役員退職慰労引当金	119,100	128,140
環境対策引当金	1,428	1,428
その他	3,566	10,759
固定負債合計	1,549,403	1,609,519
負債合計	4,290,902	4,578,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,515,213	1,371,203
自己株式	△17,766	△17,766
株主資本合計	3,525,776	3,381,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34,972	△29,438
為替換算調整勘定	△346,712	△417,590
その他の包括利益累計額合計	△381,685	△447,028
少数株主持分	30	—
純資産合計	3,144,122	2,934,739
負債純資産合計	7,435,024	7,513,299

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,450,649	4,065,006
売上原価	3,389,456	3,173,091
売上総利益	1,061,193	891,915
販売費及び一般管理費	910,254	958,464
営業利益又は営業損失(△)	150,938	△66,549
営業外収益		
受取利息	1,061	1,162
受取配当金	2,564	2,816
作業くず売却益	14,543	44,318
その他	22,201	18,177
営業外収益合計	40,369	66,474
営業外費用		
支払利息	26,855	25,321
為替差損	13,852	10,778
その他	4,062	4,502
営業外費用合計	44,771	40,602
経常利益又は経常損失(△)	146,537	△40,677
特別利益		
固定資産売却益	315	378
負ののれん発生益	5,951	—
特別利益合計	6,267	378
特別損失		
固定資産売却損	28	—
固定資産除却損	1,060	819
投資有価証券売却損	253	—
投資有価証券評価損	—	61,721
災害による損失	—	963
環境対策引当金繰入額	1,428	—
退職特別加算金	2,255	1,796
特別損失合計	5,027	65,300
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	147,777	△105,599
法人税、住民税及び事業税	9,880	8,662
法人税等調整額	519	260
法人税等合計	10,400	8,923
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	137,377	△114,522
少数株主利益	7,582	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	129,795	△114,522

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	137,377	△114,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,002	5,534
為替換算調整勘定	△17,393	△70,877
その他の包括利益合計	△46,395	△65,343
四半期包括利益	90,981	△179,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,981	△179,866
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	147,777	△105,599
減価償却費	344,804	377,374
負ののれん発生益	△5,951	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	171	△21
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,417	△37,529
退職給付引当金の増減額(△は減少)	71,244	6,732
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,040	9,040
環境対策引当金の増減額(△は減少)	1,428	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	253	—
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	61,721
受取利息及び受取配当金	△3,633	△3,979
支払利息	26,710	25,321
為替差損益(△は益)	81	85
有形固定資産売却損益(△は益)	△287	△378
有形固定資産除却損	1,060	819
売上債権の増減額(△は増加)	70,422	94,178
たな卸資産の増減額(△は増加)	△131,691	△114,545
仕入債務の増減額(△は減少)	△136,003	△2,820
未収入金の増減額(△は増加)	38,285	△29,856
未払金の増減額(△は減少)	△265	△1,499
その他	△71,315	△30,079
小計	365,549	248,963
利息及び配当金の受取額	3,976	4,109
利息の支払額	△23,756	△23,735
法人税等の支払額	△7,755	△14,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,014	214,806
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△339,372	△104,134
定期預金の払戻による収入	380,408	330,467
有形固定資産の取得による支出	△420,727	△471,731
有形固定資産の売却による収入	1,594	704
投資有価証券の取得による支出	△4,805	△4,823
投資有価証券の売却による収入	3,401	—
子会社株式の取得による支出	△47,613	△21
その他	964	1,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426,151	△247,683

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	313,106	147,614
長期借入れによる収入	—	601,741
長期借入金の返済による支出	△465,618	△427,592
自己株式の取得による支出	△6	—
配当金の支払額	—	△29,486
リース債務の返済による支出	△1,271	△2,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,790	289,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,845	△18,330
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△252,772	238,574
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,417	1,043,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 896,645	* 1,282,117

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月31日)
_____	※ 連結会計期間末日満期手形 連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当第3四半期連結会計期間末日満期手形の金額は次のとおりであります。 受取手形 <span style="float: right;">16,258千円</span>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) 現金及び預金勘定 <span style="float: right;">1,321,492千円</span> 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 <span style="float: right;">△424,846</span> <hr/> 現金及び現金同等物 <span style="float: right;">896,645</span>	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年12月31日現在) 現金及び預金勘定 <span style="float: right;">1,488,002千円</span> 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 <span style="float: right;">△205,884</span> <hr/> 現金及び現金同等物 <span style="float: right;">1,282,117</span>

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	22,114千円	3円	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年11月9日 取締役会	普通株式	7,371千円	1円	平成23年9月30日	平成23年12月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,285,725	164,924	4,450,649	4,450,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,285,725	164,924	4,450,649	4,450,649
セグメント利益	133,669	12,868	146,537	146,537

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	146,537
四半期連結損益計算書の経常利益	146,537

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,964,582	100,423	4,065,006	4,065,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,964,582	100,423	4,065,006	4,065,006
セグメント利益又は損失（△）	△42,667	1,989	△40,677	△40,677

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△40,677
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△40,677

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	17円61銭	△15円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	129,795	△114,522
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	129,795	△114,522
普通株式の期中平均株式数(株)	7,371,581	7,371,572

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成23年11月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………7,371千円

(ロ) 1株当たりの金額……………1円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成23年12月8日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行ないました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 2月14日

リバーエレテック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩渕 道男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 諏訪部 修 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 伸司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレテック株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレテック株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役若尾富士男は、当社の第67期第3四半期（自平成23年10月1日 至平成23年12月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。